



塩尻市学校連携担当について



塩尻市立図書館 こども読書支援係 学校図書館担当

現在、主担当は嘱託職員2名＋読書推進アドバイザー
担当は、専任ではないので他の図書館業務と兼務、
学校図書館勤務の経験ありません。



他にもいろいろ
やっています

青山 志織

担当 4年目
4類 6類 8類棚担当
多文化チーム
英語・外国籍サービス



上野 満

担当 2年目
ヤングアダルト棚担当
青少年交流チーム
中高生向けサービス

塩尻市立図書館非公式キャラクター「若葉おうえん隊」





塩尻市 学校連携について

塩尻市立図書館 青山志織 上野満

COPYRIGHT

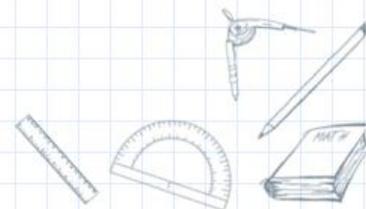


紆余曲折

試行錯誤

課題山積

変化する学校連携





塩尻市と市立図書館について



塩尻市

人口:6.7万人

長野県のほぼ中央に位置する交通の要所

名産品:ぶどう・ワイン・木曾漆器

小学校9校・中学校6校

塩尻市立図書館

平成18年3月

「塩尻市立図書館基本計画」策定

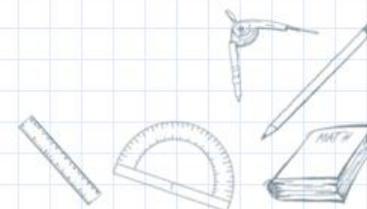
平成22年7月

市民交流センター(愛称:えんぱーく)開館

センター内に市立図書館が移転

平成27年

Library of the Year 2015優秀賞を受賞





塩尻市立図書館(えんぱーく)について



【ミッション】『知恵の交流を通じた人づくりの場』

【目指すこと】

1. 役立つ情報を提供する図書館
2. 意欲と活動を応援する図書館
3. 進化する図書館

「地域と人に寄り添い、支える存在をつくる」

ビジネス
支援

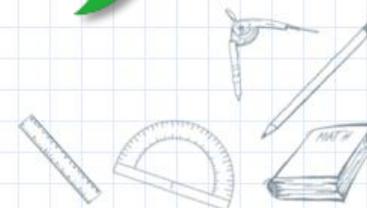
多文化
サービス

シニア
活動支援

青少年交流

子育て応援

学校図書館
支援

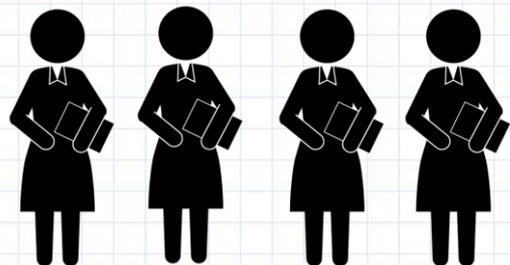




学校図書館と市立図書館の現状



学校図書館



教育
総務課

教育
機関

学校長

「守る」
場所

学校司書を図書館所属に一元化。

市立図書館

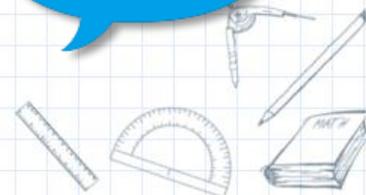


図書館

公共
機関

図書館長

「発信」
する場所





これからは“**司書**”として ちゃんと仕事をしてほしい

- 「図書館事務」→「図書館司書」へ（基本給に資格手当を追加）
- 勤務日数を増加 ・ 学校司書の全校配置

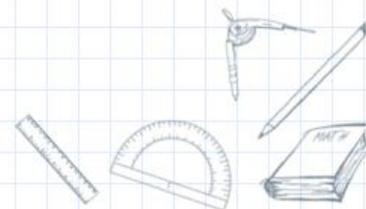
拒否感

不安

不信感

疎外感

学校や学校図書館について何もわかっていなかった。
学校司書の顔と名前さえ一致しなかった現実。

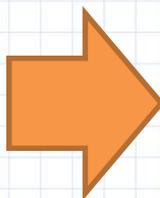




初年度の連携



~~学校支援~~

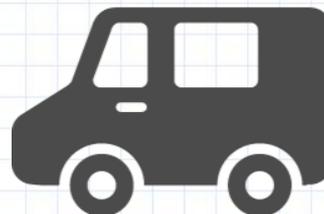


学校連携

学校図書館
を知らない

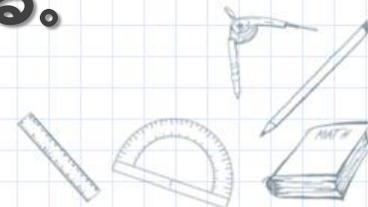
何をしたら
いいか
わからない

- ブックセットの巡回貸出
- 全学校への月一回の学校訪問
- 学校図書館委員会の開催



とにかく
学校に
出かける

“集団”としてではなく、ひとりひとりの学校司書と話す。
各学校にそれぞれ全く別の“課題”がみえてくる。



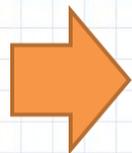


学校図書館と学校司書について



平成23年～24年

学校図書館にコンピュータ導入
(15人中7人が新規採用)



引継ぎのない一人職場
相談相手の不在
参考にすべき事例がわからない

平成25年

市立図書館との連携開始

信州しおじり

本の寺子屋

「本の寺子屋」が地方を創る
塩尻市立図書館の挑戦
信州しおじり本の寺子屋」研究会
東洋出版 2016.5



平成25年度 広瀬恒子氏講演「子どもと本を結ぶ架け橋として」
藤田利江氏講座「学校司書向け研修」

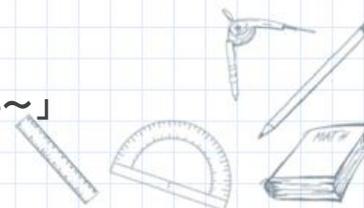
平成26年度 五十嵐絹子氏講演「学校図書館が変われば子どもが変わる、教育が変わる」

平成27年度 赤木かん子氏連続講座「図書館司書講座(全3回)」

藤田利江氏講座「学校図書館を活用した調べる学習～調べる学習基本のスキル～」

平成28年度 中山美由紀氏講演「授業で使おう！学校図書館」

平成29年度 小幡章子氏講演「子どもが育つ読書支援を目指して～小学生への本の手渡し方を考える～」





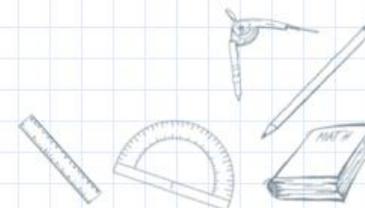
学校図書館と学校司書について



「なんでもする」「どんな依頼にもこたえる」

→ 何ができるか、何をしたらいいかを考え、関係性をつくる。

構造改革により、連携がしやすくなったことも事実





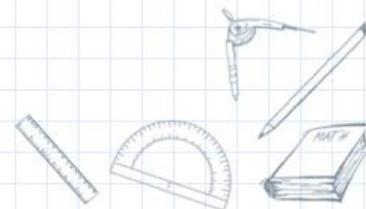
人手

資料

時間

情報

連携は、子どもたちの役に立つという**実感**





学校連携をはじめてわかったこと



学校司書や学校図書館だけでは**不十分**

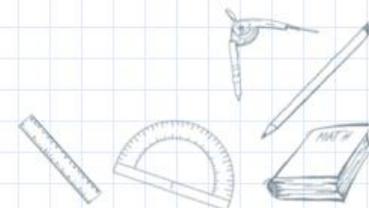
教職員・学校長の理解が不可欠

→ 平成25年 館長による**学校長訪問継続**



平成26年 教職員用利用案内作成

本の寺子屋を教育センターとの共催により、**教職員向け研修**へ

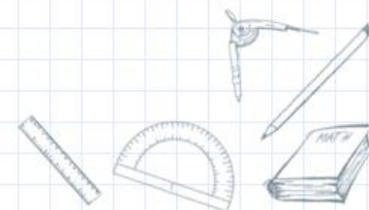




- 団体貸出
- ブックセット
- 団体備品貸出
- 塩尻市読書推進アドバイザー
- 見学や図書館利用
- 調べもののお手伝い(レファレンス)
- 専門書の充実(教員向け資料、雑誌、点字本、外国語絵本など)
- 社会見学、職場体験受け入れ、高校連携

ほとんどが
連携前から
実施していた

-
- 定期的な学校訪問
 - 選書・除架・除籍に関する相談
 - 新任学校司書への研修





学校への団体貸出

資料の課題

市内の団体に対して、100冊5週間まで貸出。
(市内の保育園、幼稚園、学校、公民館、福祉施設・ボランティア団体)

とにかく利用のハードルを下げる **スピーディー**な対応を目指す



電話・FAX
メールで依頼

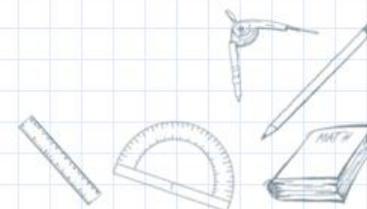


依頼に応じて
資料を用意



学校便や
図書館車で運ぶ

貸出・学校レファレンスの増加





ブックセットからレファレンスへ



- 「~~単元別調べ学習用ブックセット~~」
【戦争】~~姿を変える食べ物~~【環境】…等

平成27年
ブックセット
解体！

ブックセットの形式のみ残して、資料は各分館に分散

誰が

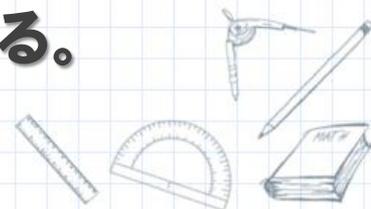
どの単元で

どのように

どんな形で

どのくらい

同じ単元でも授業の形や求める資料は様々。
対話により、**必要な資料・情報**を集め**共有**する。

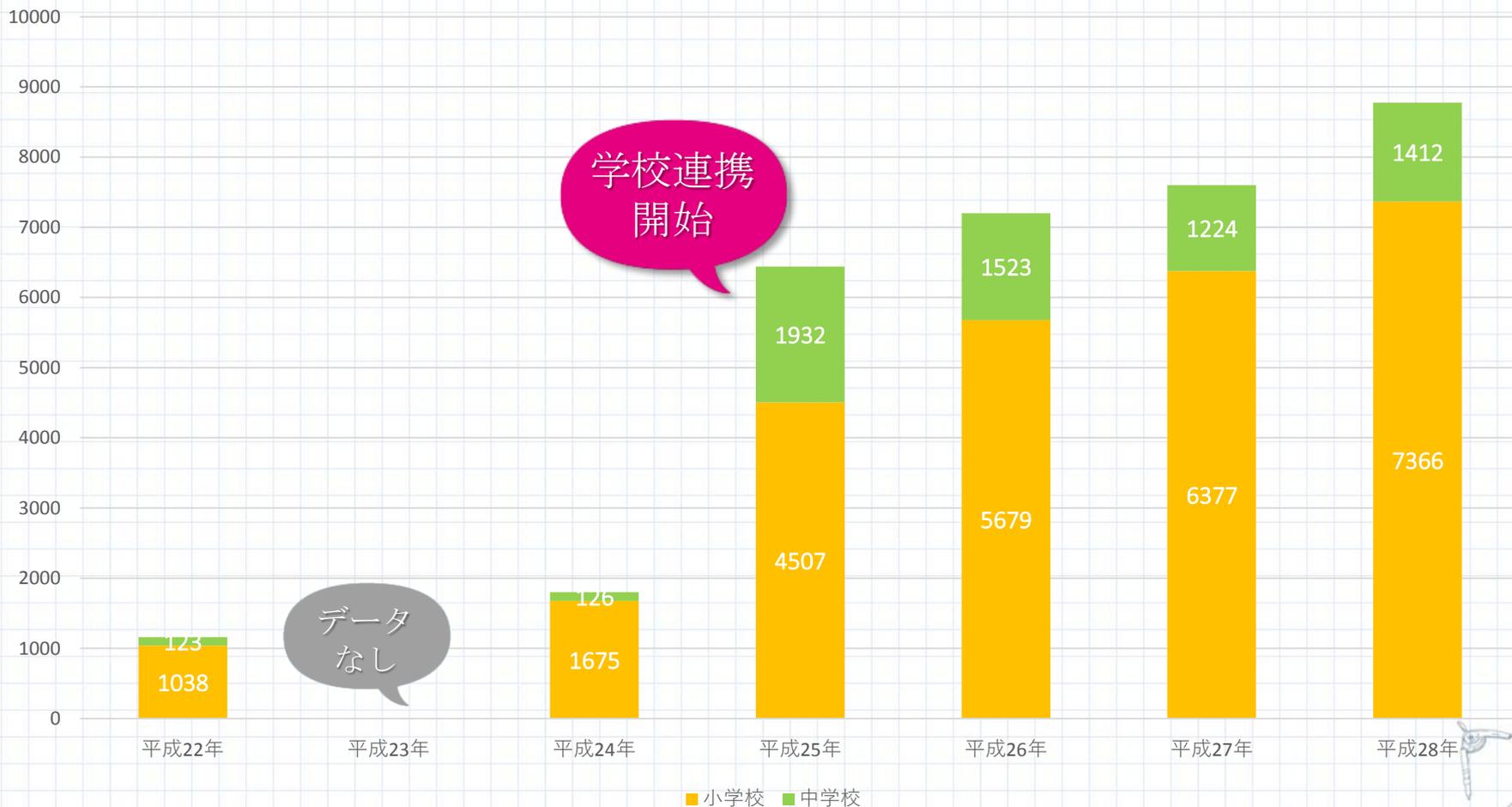




具体的な効果・貸出数について



公共図書館からの市内小中学校への貸出数（冊数）

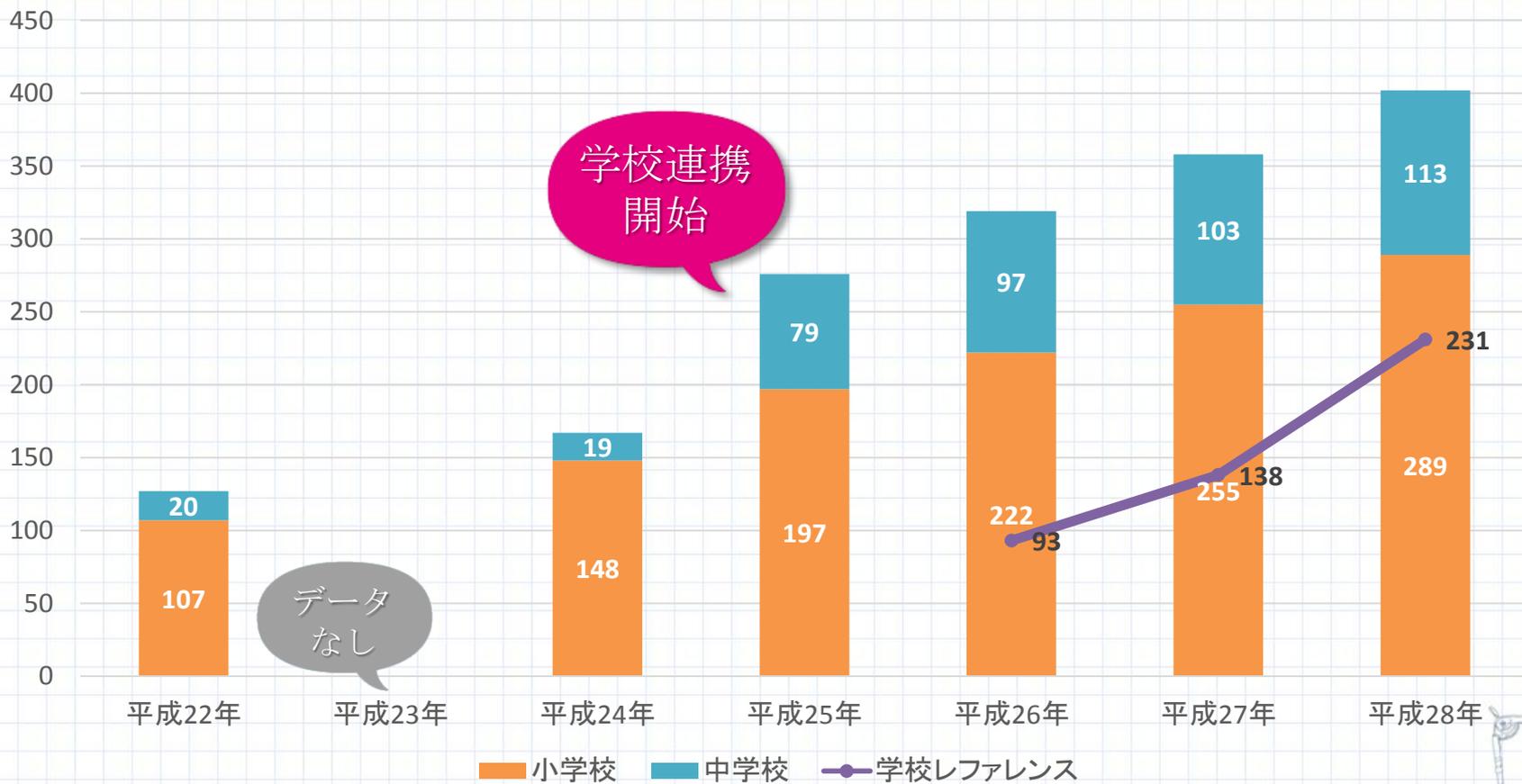




具体的な効果・利用回数について

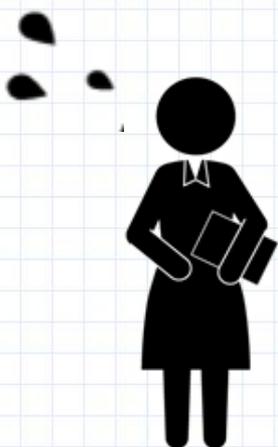


市内小中学校の利用回数・レファレンス数





数値に現れない変化



大豆の本
ありますか？

大豆

大豆

大豆

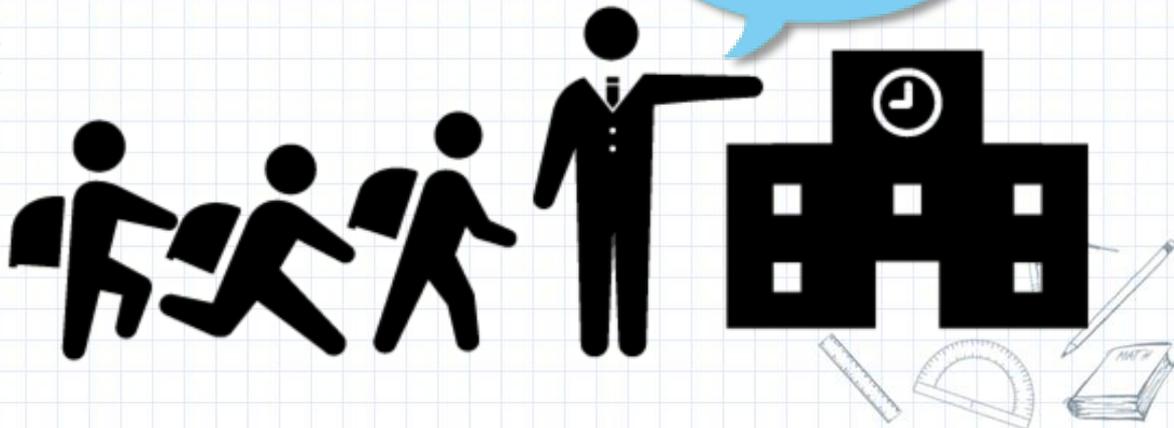
大豆

大豆

大豆

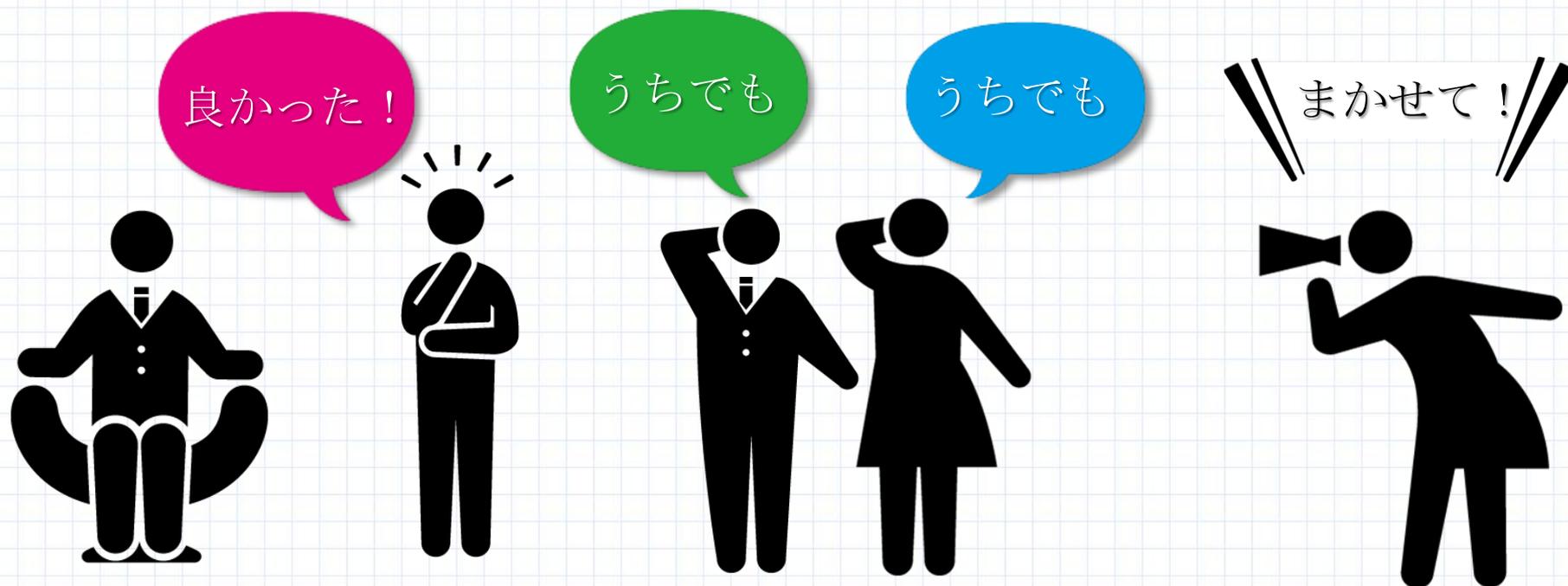
学校図書館で
学習できる環境が必要

学校図書館で
調べよう



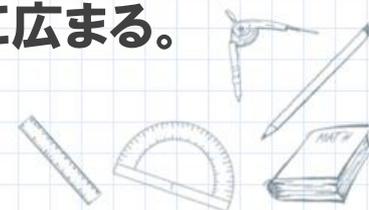


学校内での広まり



学校はトップダウンとロコミ文化

学校長・教頭の理解と引き受ける司書がいれば、教職員の間にも広まる。

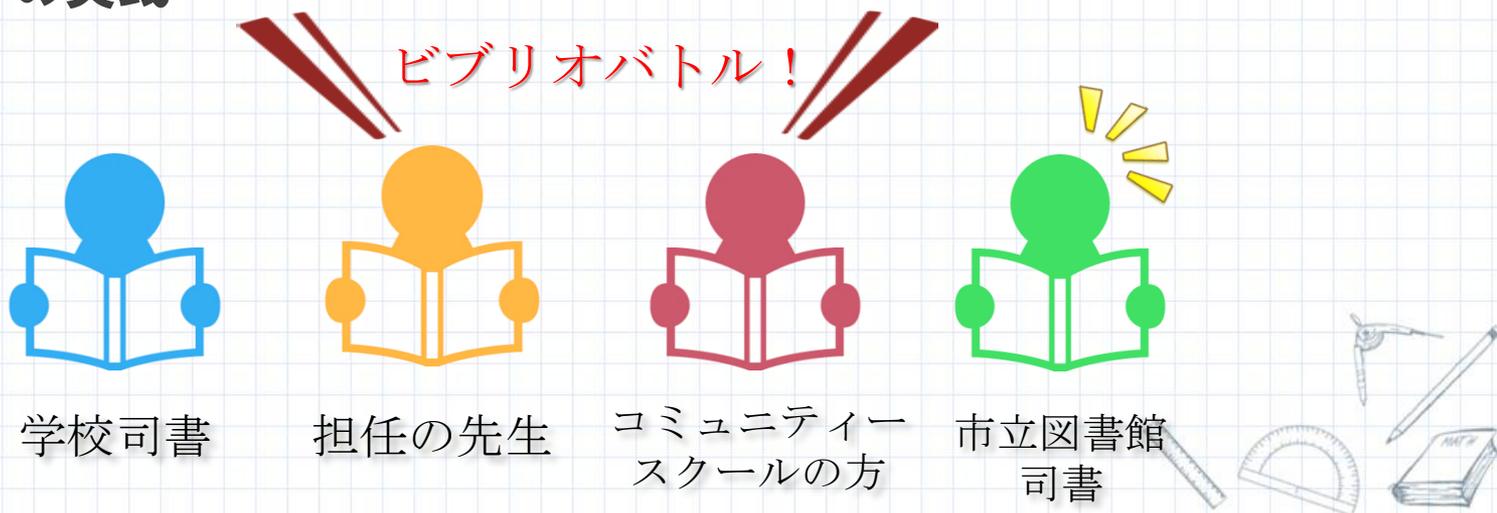




自分達でつくる学級文庫



ビブリオバトルの実践





学校図書館委員会の変化



学校図書館委員会の課題

- 実務に関する情報交換が中心
- 正副の学校長の出席がない

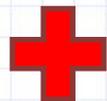


改善策を提案する場や
協議結果をあげる場所がない

愚痴を
言い合う
場に...

司書部会

学校司書が出席
実務に関する情報交換
課題の整理・意見統一

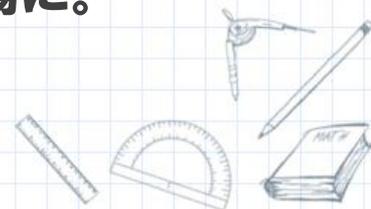


学校図書館委員会

学校長・教頭(正副委員長)
教育総務課、教育センター
市立図書館が出席

機能する場に
変化!

関係者が話し合うことにより協議が進み、**課題**が解決する場に。



読書推進アドバイザー 絵本専門士

- 読み聞かせボランティアのコーディネート
- クラスでの読み聞かせ・おはなし会

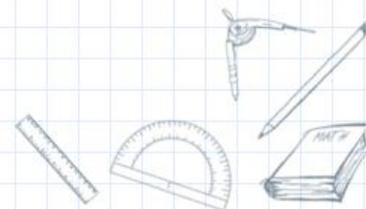
必要な場所に声が届く

- 保護者や教職員に向けて講演会や研修
- 学校司書からの選書や除籍、ブックトークの相談・アドバイスなど



- 小学校英語授業に対応できる資料選書
- 作家による「ものがたりライブ」
- 読書手帳の配布

**市立図書館は、“来ることのできる利用者”が中心
学校になら、より多くの子供たちに手が届く**





紆余曲折

試行錯誤

課題山積

変化する学校連携

